

概要

- 遊休漁港エリアに設置した「はんばた市場」と提携する遊漁船で釣った魚を電子地域通貨「サンセットコイン」で買取り、釣りだけでなく町内を周遊してもらう「ツッテ西伊豆」という取り組みを実施し、2020年から延べ約1,300人が体験し1,700ユーヒ（円）分の魚を買取り、釣り人が地域にプラスαの経済効果を生み出した（仁科、安良里）。
- 釣り禁止になっていた遊休漁港を、漁協がアプリ管理で有料釣り場化し、周辺事業者への経済波及効果を創造する「海釣りGO!!」という取り組みを実施し、延べ約3,600人がサービスを利用し、約3,000千円の利用料を漁協が収入し、漁港周辺環境整備に充てられた（田子）。
- 一社フィッシャーマンジャパンが受け入れ母体となり、釣りを入り口とし、関係人口を増やす中で、移住者を募り、最終的には漁協の組合員になるまでをサポートする「西伊豆 & ANGLER」という取り組みを実施し、15人の相談者を受け入れ、4人が移住検討中（仁科）。
- （同）シーベジタブルが主体となり、遊休漁港エリアを活用した海藻養殖事業を実施。田子漁港（水域）では地元漁業者と連携しミリンの養殖試験を実施し約1,000kgを収穫、安良里漁港陸上エリアにて研究や種苗生産のためのラボを設置した。



効果

海業の取組概要

はんばた市場×ツッテ西伊豆



はんばた市場



海釣りGO!!



釣る

測る

サンセットコイン付与



西伊豆 & ANGLER



海藻養殖試験(ミリン)



都内イベント (@ホットラックヤス)

はんばた市場

登録出荷者270人 新規雇用8人（内地域おこし協力隊2）
売上80,000~90,000千円/年

ツッテ西伊豆

延べ体験者1,300人・買取額1,700千ユーヒ（円）
（2020年から）

海釣りGO!!

延べ体験者3,600人・利用料3,000千円（2023年8月から）

西伊豆 & ANGLER

相談者数15人 移住検討者4人（2023年7月から）

海藻養殖試験(ミリン)

沖出し300kg→収穫1,000kg（2022年3月から5月）

協力体制

西伊豆町役場、伊豆漁協仁科・田子・安良里支所
はんばた市場、遊漁船、周辺事業者、旅行事業者
海藻養殖事業者、海釣りGO!!アプリ運営事業者

スケジュール

- R6.2 各事業の連携に向けて関係者間で協議
- R6.4 連携事業の計画を作り実施に向けて協議
- R6.5 計画をもとに補助事業へのエントリー
- R6.9 補正予算確保→事業開始
※3年間の継続事業を想定